

「小松商工会議所景気見通し調査」

結果報告書

調査期間 令和 3年 3月

小 松 商 工 会 議 所

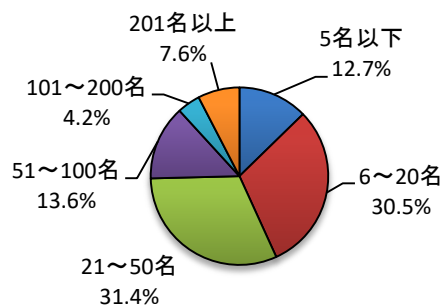
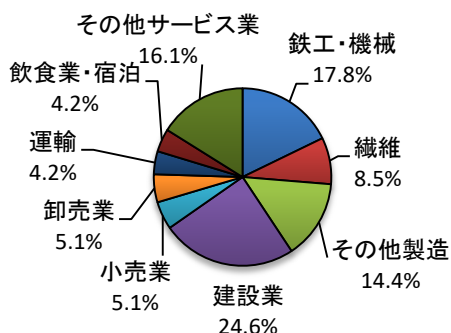
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 221社

回収率 118企業 (回答率 53.4%)

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		1	8	7	3	2	21
	繊維	2	4	3	1			10
	その他製造	3	3	3	3	1	4	17
建設業		2	16	10	1			29
小売業		2		1	2	1		6
卸売業		1	3	2				6
サービス業	運輸			3	2			5
	飲食業・宿泊	2	1	2				5
	その他サービス業	3	8	5			3	19
合計		15	36	37	16	5	9	118



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 …… D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月)

今 期 …… 令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月、但し3月は見込み)

来 期 …… 令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感 …… DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高 …… DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 …… DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り …… DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) …… DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	14	6	2	3	3	2	2		1		1	2	5	5
不変	6	10	5	4	6	10	22	14	3	2	1	3	16	14
悪化	1	5	3	3	8	5	5	15	2	4	4	1	7	8
無回答													1	2
総計	21		10		17		29		6		6		29	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

【今期：好転の理由】

主力の建機が増産傾向（鉄工・機械）
（株）コマツの生産回復（今年度の上期分も下期に上乘せ）（鉄工・機械）
海外建機需要の回復により好転（鉄工・機械）
建機・自動車・再生可能エネルギー部品好調（鉄工・機械）
受注が一時的であるが増えている（鉄工・機械）
大口顧客の増産により操業度向上（鉄工・機械）
各社在庫調整が出来ていず、悪い（繊維）
毎年3月は出荷量の増加が見込まれるため（その他製造）
年度末の仕事が増えた（建設業）
国・県の仕事量増加（建設業）
時期的に増加するので（小売業）
物量が増えた（運輸）
一昨年と比べて減少しているが、昨年があまりにも少なかった（運輸）
海外経済（その他サービス業）
繁忙期であること。閉塞感が和らいだ（その他サービス業）
決算期（その他サービス業）

【今期：不変の理由】

前期から受注高が好転し維持している（鉄工・機械）
売上幅が一定（鉄工・機械）
大型観光バス生産大幅減（鉄工・機械）
緊急事態宣言による経済活動の低迷（繊維）
新型コロナや年度末などの要因で景況感は低調なままである（繊維）
秋に回復してから変わらない（その他製造）
例年の傾向をふまえて（その他製造）
業種によっては、コロナ禍であっても設備投資に、より力を入れる企業があった（建設業）
公共工事が同程度受注できている（建設業）
ずっと好景況感が続いている（建設業）
受注状況に余り変化が無い（建設業）
コロナの影響はなかった（建設業）
年度末で少し忙しい（建設業）
現状仕事量は確保しているが、人員関係などにより受注できない（建設業）
製造業は比較的好調だが、個人消費は低調。当面続きそう（小売業）

低いままあまり変化無し（運輸）
コロナ禍で人の動きがみられない（飲食業・宿泊）
コロナの影響による利用の自主的制限（その他サービス業）
まだコロナウイルスの影響が残る（その他サービス業）
業種柄、特段の変化なし（その他サービス業）
緊急事態宣言の延長により、航空旅客の減少が続いている（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

産業機械業界がコロナの影響を「様子見」している様です（鉄工・機械）
業況が悪い中、仕入原価の上昇気配を感じている（繊維）
衣料用繊維の不振（繊維）
コロナ（その他製造）
個人客が激減している（その他製造）
コロナの影響でアパートの着工(需要)が低下（その他製造）
悪循環が続いているため（その他製造）
コロナ感染拡大&1都3県非常事態宣言を受けて、県内&関東の人口移動の停止状態や働き方改革での関東圏人移動の大きな自粛による取引先の売上激減による（その他製造）
行事の自粛などにより、仕事の受注が減った（その他製造）
GO TO が終わった反動か、年明けからの落込みが激しい（卸売業）
GO TO がストップしたことにより、空港等の売上減少（卸売業）
第1～第3四半期が好調だったため（建設業）
民間の市場が悪い（建設業）
新型コロナウイルス第3波の影響による為（飲食業・宿泊）
コロナの影響により、来客数及び客単価が減少している（飲食業・宿泊）
当社の職業では人の動きが制限されているため（その他サービス業）
貸出先の業況悪化に伴い、信用リスクが高まっている（その他サービス業）
主要取引先の買い控え傾向（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

主力の建機が増産傾向（鉄工・機械）
大口顧客の増産により操業度向上（鉄工・機械）
建機・自動車・再生可能エネルギー部品好調（鉄工・機械）
新規案件の増加（鉄工・機械）
ワクチン投与により経済活動の拡大（繊維）
新年度になることや、緊急事態宣言解除などで景況感が上向く事を期待（繊維）
コロナ感染拡大&1都3県非常事態宣言を受けて、県内&関東の人口移動の停止状態や働き方改革での関東圏人移動の大きな自粛による取引先の売上激減の多少の改善は見られるが、大きな回復は期待できない（その他製造）
今期より悪いと閉店です。良くなることを願う（飲食業・宿泊）
ワクチンの接種開始（飲食業・宿泊）
コロナウイルスから脱却する（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

しばらくは現水準で維持すると見通し（鉄工・機械）
業種というよりも一部だけ、今年に入って増えている（鉄工・機械）
海外建機需要の回復により好転（鉄工・機械）

大型観光バス生産大幅減（鉄工・機械）
主要客先の生産に伴うもの（鉄工・機械）
引き続き安定した生産量が見込めるため（鉄工・機械）
インフレ予想（繊維）
コマツの生産計画が比較的多いため（その他製造）
毎年4～6月は出荷量の増加が見込まれるため（その他製造）
6月頃まで、低減傾向が続く見込み（その他製造）
来期もこのまま行きそう（その他製造）
例年の傾向をふまえて（その他製造）
変わらない（建設業）
新幹線工事が無くなると（建設業）
計画の所2～3有り（建設業）
来期の仕事も順調に入ってきている（建設業）
製造業は比較的好調だが、個人消費は低調。当面続きそう（小売業）
このままではないか（卸売業）
現状維持との観測（運輸）
受注が少ない（運輸）
コロナへの警戒心は簡単に消えない（飲食業）
介護報酬単価の改定があったこと（その他サービス業）
急激な業況回復は見込めない（その他サービス業）
急激な変化は無い（その他サービス業）
現状、悪材料がない（その他サービス業）
R3.4月以降、東京便の復便が計画されているため（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

今のところ見通せない（鉄工・機械）
取引先各社が堅調なため。ただし物の値上げや調達難が発生している。無い物高。（鉄工・機械）
海外品の受注不安定（鉄工・機械）
産業機械業界がコロナの影響を「様子見」している様です（鉄工・機械）
衣料用繊維の不振の継続（繊維）
仕入原価の上昇が必至で、利益率の低下が否めない（繊維）
先が見えない（その他製造）
悪循環が続いているため（その他製造）
コロナ（その他製造）
コロナ対策で公共工事の減少が想定される（建設業）
長引くコロナ禍の今後の見通し感が、今一つ掴めない（建設業）
見込み客が昨年ベースより少ないため（建設業）
採算性が低いと思われるため（建設業）
先行の発注見通しが見えない（建設業）
民間の設備投資の減少が見込まれる（建設業）
相変わらず設備投資の気配なし（建設業）
当社だけの問題(複数の受注機会を逃した為) コロナは関係ない(建設業)
年度始めの仕事が少ない為（建設）
4月より先が見えない（運輸）
値下げ方向に向かうので悪化する（小売業）

まだコロナが落ち着いていないのが現状であるため（飲食業・宿泊）
当社の職業では人の動きが制限されているため（その他サービス業）
主要取引先の買い控え傾向（その他サービス業）
半導体の影響を受けそう（その他サービス業）

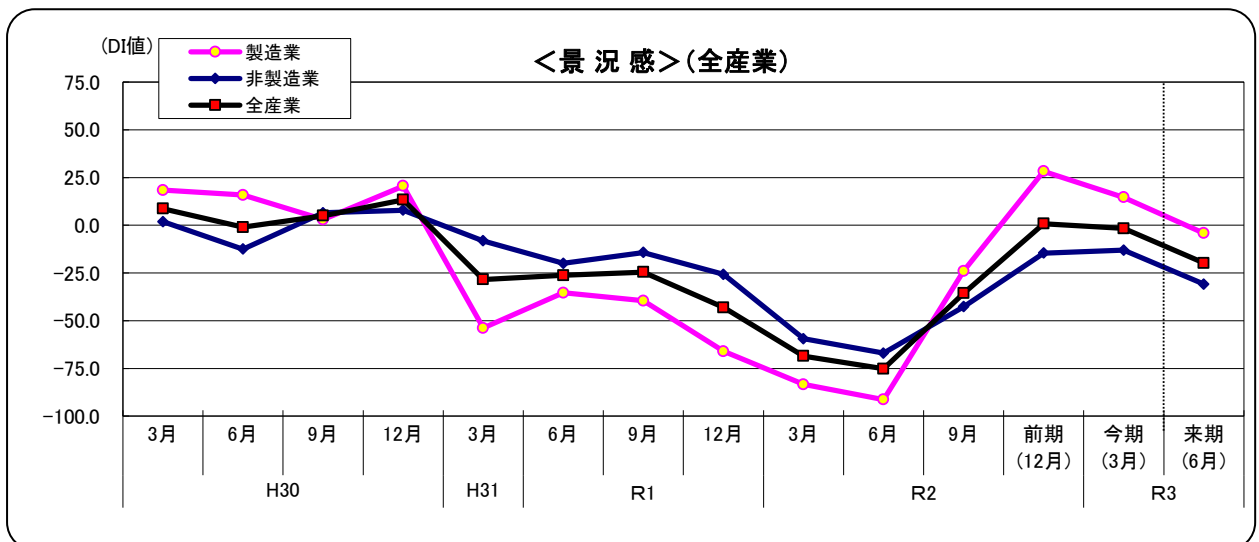
(1)-2 DI値

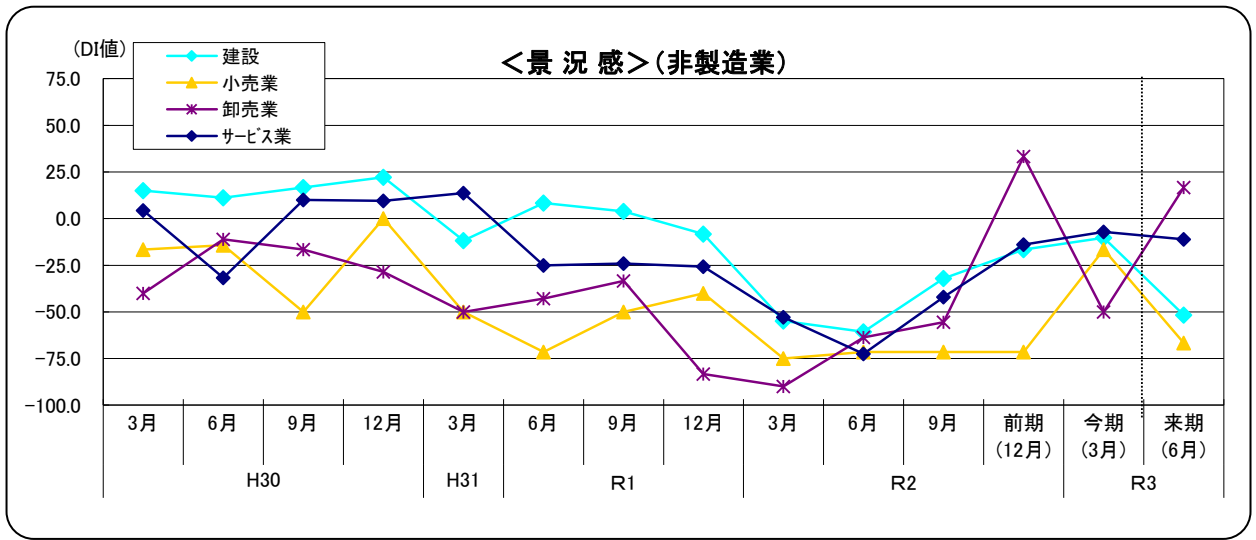
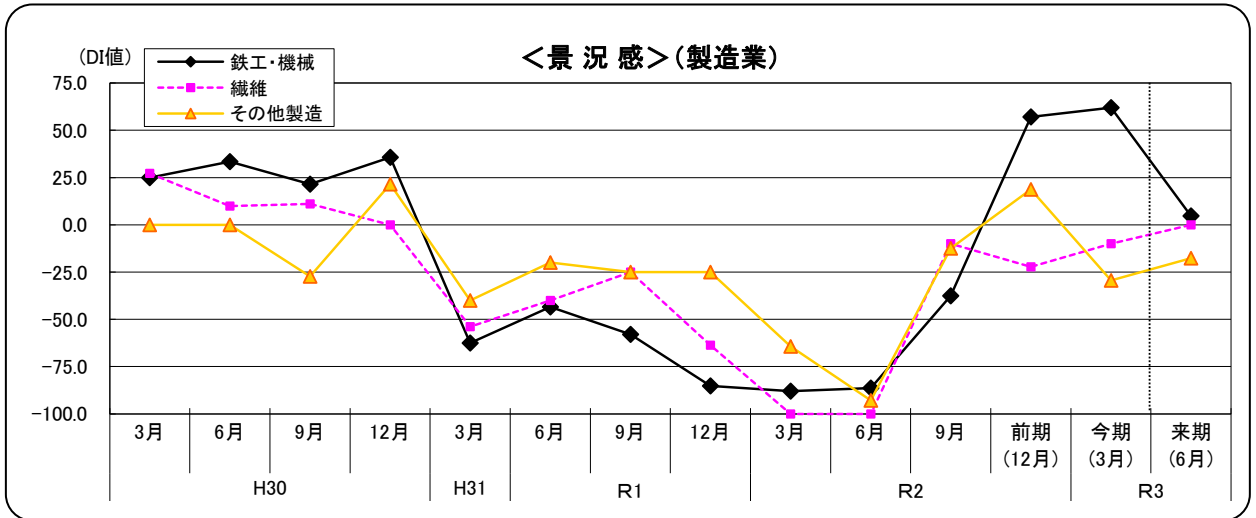
(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	57.1	61.9	4.8
	繊維	▲ 22.2	▲ 10.0	0.0
	その他製造	18.8	▲ 29.4	▲ 17.6
	製造計	28.3	14.6	▲ 4.2
非製造業	建設業	▲ 16.7	▲ 10.3	▲ 51.7
	小売業	▲ 71.4	▲ 16.7	▲ 66.7
	卸売業	33.3	▲ 50.0	16.7
	サービス業(運輸含む)	▲ 13.9	▲ 7.1	▲ 11.1
	非製造計	▲ 14.6	▲ 13.0	▲ 30.9
全体		0.8	▲ 1.7	▲ 19.8
改善予測		▲ 23.8	▲ 18.1	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

(1)-3 年次別の推移





製造業については、鉄工・機械において 前期 57.1 ポイント、今期 61.9 ポイントと建機業界が牽引となり、高い値になった。繊維において 前期▲ 22.2 ポイント、今期 ▲ 10.0 ポイント、その他製造において 前期 18.8. ポイント、今期 ▲ 29.4 ポイントとマイナスの値で、景況の二極化がみられる。非製造業については、建設業において 前期 ▲16.7 ポイント、今期 ▲10.3 ポイント、小売業において 前期 ▲71.4 ポイント、今期▲ 16.7 ポイント、卸売業において 前期 33.3 ポイント、今期 ▲50.0 ポイント、サービス業において 前期 ▲13.9 ポイント、今期 ▲ 7.1 ポイントとなった。

来期は、ワクチン接種の開始や首都圏の緊急事態宣言が解除したものの、感染拡大の歯止めが利かないことや原材料の値上げ・調達難から、全体的に低い値になった。

(単位:DI)

区分	今期(R3.3)			来期(R3.6)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	14.6	▲13	▲6	▲ 4.2	▲7	▲7	48 社
非製造業	▲ 13.0	▲15	▲9	▲ 30.9	▲18	▲12	70 社
全体	▲ 1.7	▲13	▲8	▲ 19.8	▲13	▲10	118 社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(1)－(5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和2年度第4四半期)の状況

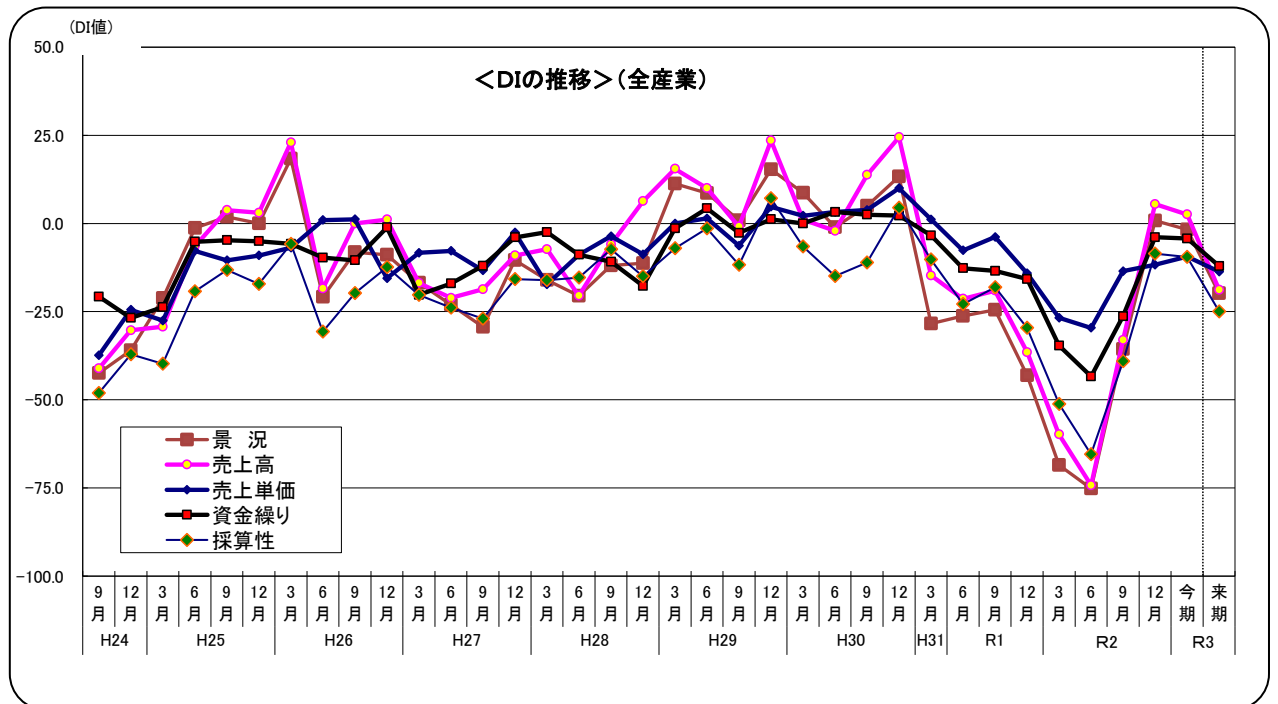
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	61.9	71.4	0.0	28.6	50.0
繊維	▲ 10.0	▲ 10.0	10.0	▲ 30.0	▲ 30.0
その他製造	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.9	▲ 23.5
建設業	▲ 10.3	▲ 6.9	▲ 13.8	▲ 3.4	▲ 10.3
小売業	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7
サービス業	▲ 7.1	3.6	▲ 10.7	▲ 14.3	▲ 17.9
全体	▲ 1.7	2.6	▲ 9.4	▲ 4.3	▲ 9.5

来期(令和3年度第1四半期)の見通

(単位:DI)

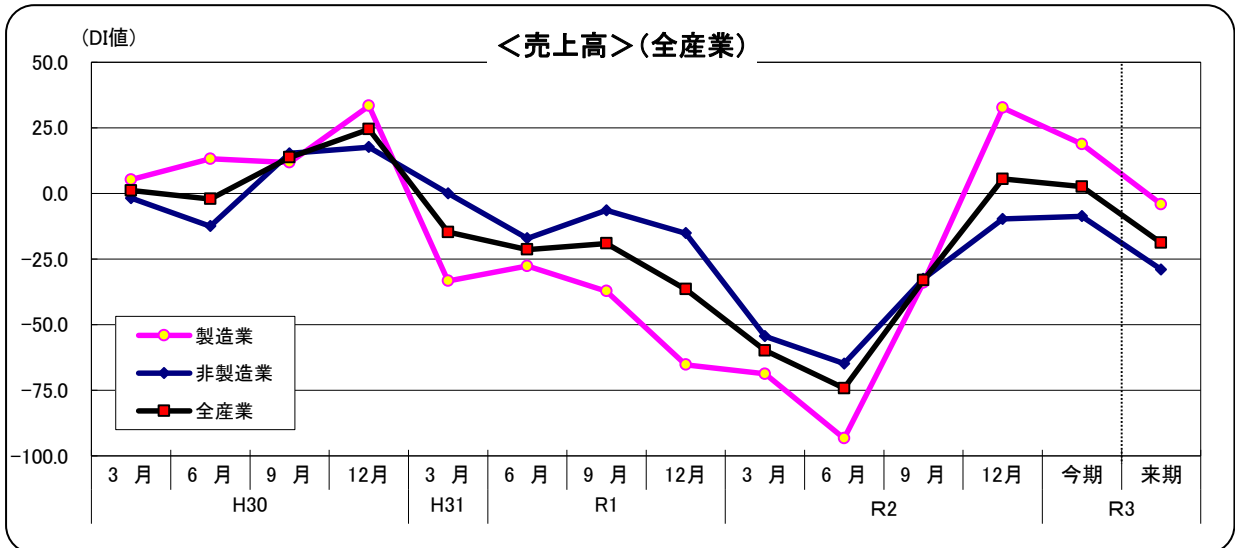
業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	4.8	9.5	▲ 14.3	▲ 4.8	▲ 4.8
繊維	0.0	0.0	30.0	▲ 30.0	▲ 30.0
その他製造	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 17.6
建設業	▲ 51.7	▲ 48.3	▲ 27.6	▲ 17.2	▲ 44.8
小売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 50.0
卸売業	16.7	16.7	▲ 16.7	0.0	0.0
サービス業	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 10.7	▲ 7.4	▲ 22.2
全体	▲ 19.8	▲ 18.8	▲ 13.7	▲ 12.1	▲ 25.0
改善予測(今回)	▲ 18.1	▲ 21.4	▲ 4.4	▲ 7.8	▲ 15.5
改善予測(R02.12)	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 1.8	▲ 9.6	▲ 21.0
改善予測(R02.9)	8.9	14.0	1.2	5.7	7.8



(2) 売上高

(単位:DI)

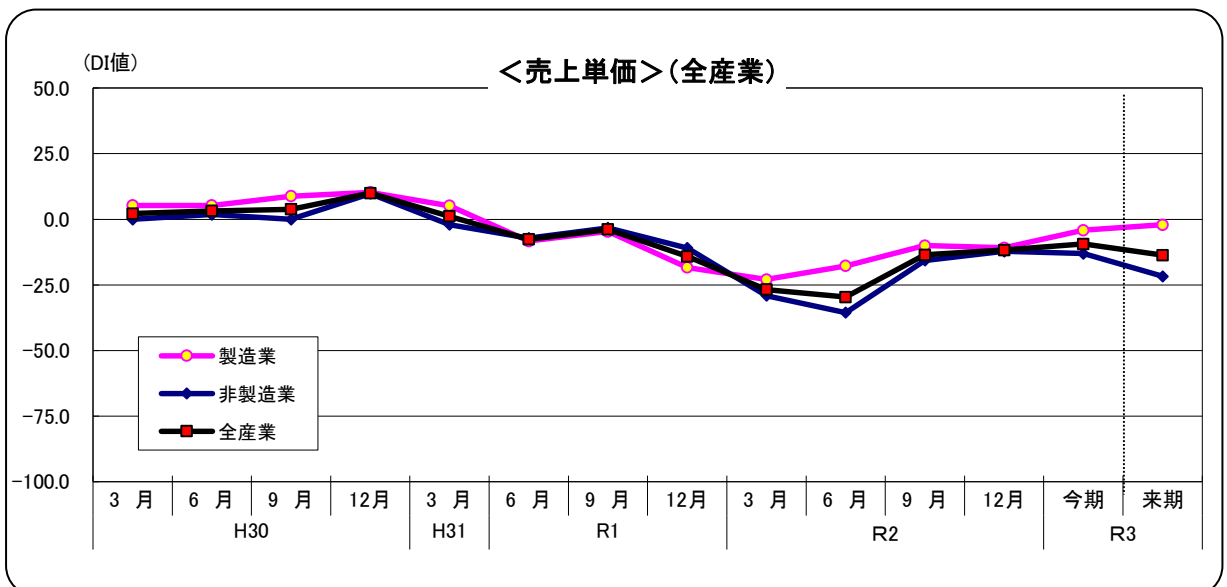
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	9.5	0.0	▲ 23.5	▲ 4.2	▲ 48.3	▲ 66.7	16.7	▲ 10.7	▲ 29.0	▲ 18.8
今期	71.4	▲ 10.0	▲ 29.4	18.8	▲ 6.9	▲ 33.3	▲ 50.0	3.6	▲ 8.7	2.6
前期	61.9	▲ 22.2	25.0	32.6	▲ 10.0	▲ 100.0	55.6	▲ 8.3	▲ 9.8	5.5



(3) 売上単価

(単位:DI)

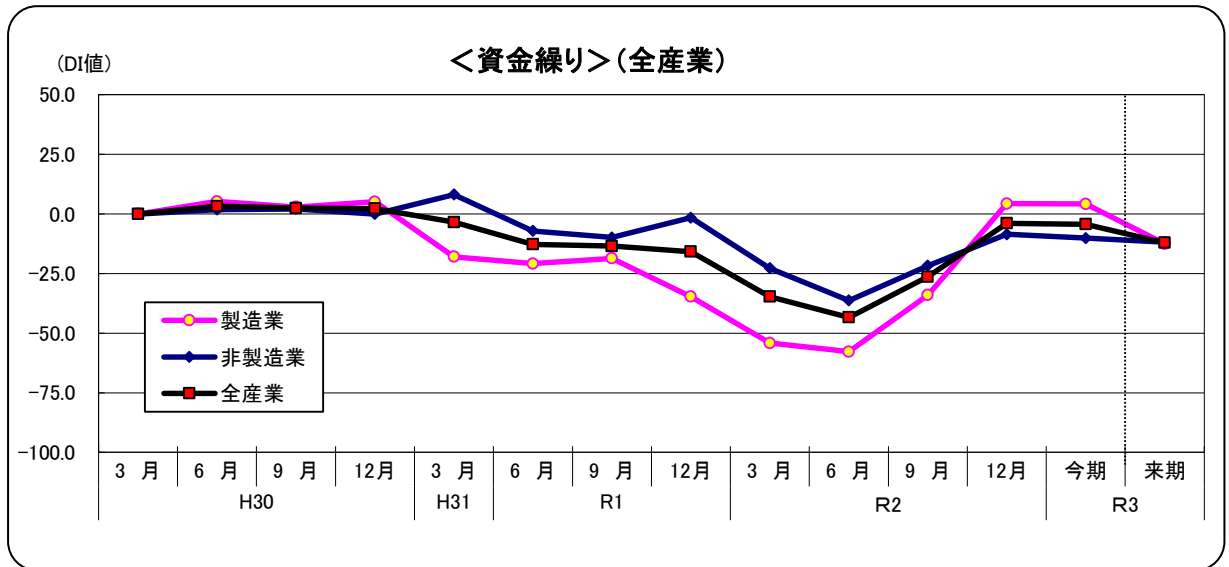
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 14.3	30.0	▲ 5.9	▲ 2.1	▲ 27.6	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 10.7	▲ 21.7	▲ 13.7
今期	0.0	10.0	▲ 17.6	▲ 4.2	▲ 13.8	0.0	▲ 33.3	▲ 10.7	▲ 13.0	▲ 9.4
前期	0.0	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 10.9	▲ 10.0	▲ 71.4	11.1	▲ 8.3	▲ 12.2	▲ 11.7



(4) 資金繰り

(単位: DI)

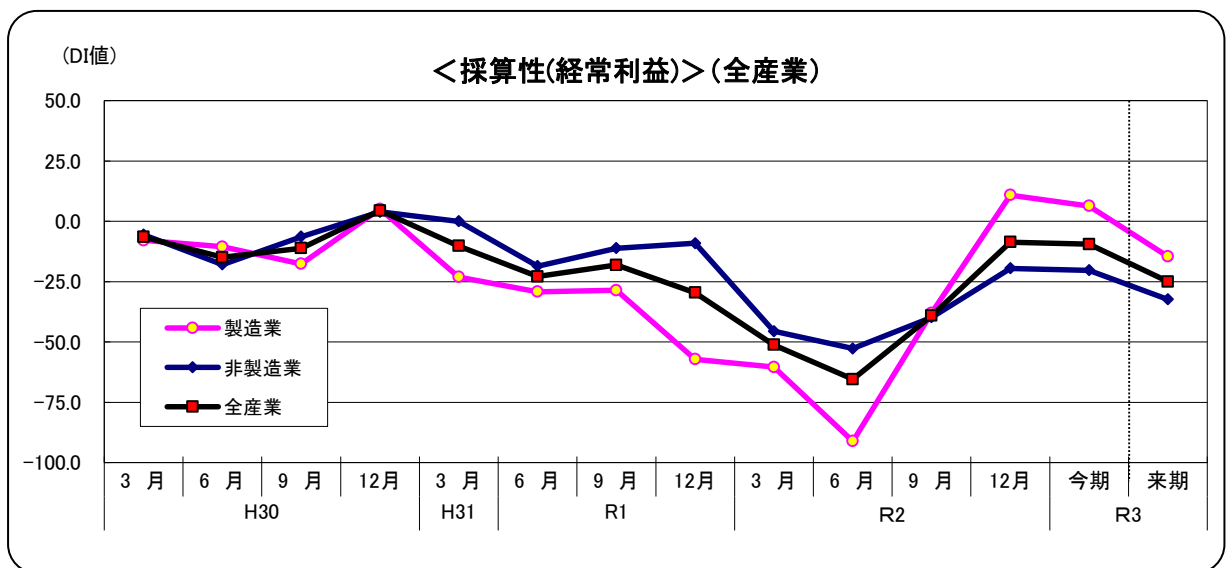
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 4.8	▲ 30.0	▲ 11.8	▲ 12.5	▲ 17.2	▲ 16.7	0.0	▲ 7.4	▲ 11.8	▲ 12.1
今期	28.6	▲ 30.0	▲ 5.9	4.2	▲ 3.4	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 10.1	▲ 4.3
前期	28.6	▲ 22.2	▲ 12.5	4.3	3.3	▲ 14.3	0.0	▲ 19.4	▲ 8.5	▲ 3.9



(5) 採算性(経常利益)

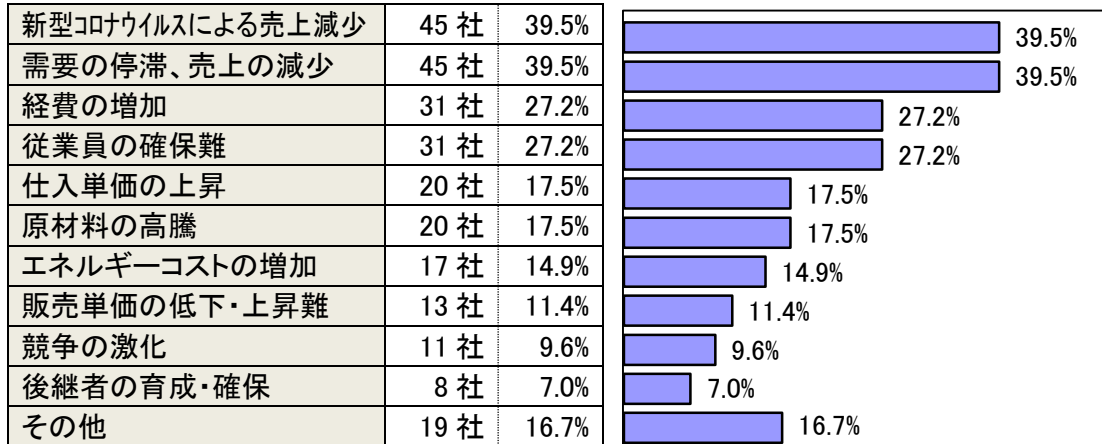
(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 4.8	▲ 30.0	▲ 17.6	▲ 14.6	▲ 44.8	▲ 50.0	0.0	▲ 22.2	▲ 32.4	▲ 25.0
今期	50.0	▲ 30.0	▲ 23.5	6.4	▲ 10.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 17.9	▲ 20.3	▲ 9.5
前期	33.3	▲ 22.2	0.0	10.9	▲ 6.7	▲ 57.1	11.1	▲ 30.6	▲ 19.5	▲ 8.6



今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=114)



Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

設備の老朽更新のコスト(鉄工・機械)
受注が不安定(鉄工・機械)
若年社員の定着率(鉄工・機械)
海外での悪天候により一部の粗原料が供給停止になっている(繊維)
副資材の不足(その他製造)
若年層の不足(建設業)
設備老朽化(建設業)
材料の納期遅れ(建設業)
コンプライアンス対応(運輸)
消費税の込表示は賛成できない。(その他サービス業)
社員育成(その他サービス業)
特になし

	鉄工・機械 (n=21)	繊維 (n=10)	その他製造 (n=17)	建設業 (n=26)	小売業 (n=6)	卸売業 (n=6)	サービス業 (n=28)
新型コロナによる売上減少	19.0%	80.0%	47.1%	15.4%	50.0%	50.0%	53.6%
需要の停滞、売上の減少	14.3%	70.0%	58.8%	34.6%	66.7%	50.0%	32.1%
経費の増加	52.4%	20.0%	11.8%	30.8%	16.7%	33.3%	17.9%
従業員の確保難	38.1%	10.0%	5.9%	50.0%	33.3%	33.3%	14.3%
仕入単価の上昇	23.8%	40.0%	17.6%	19.2%	16.7%	16.7%	3.6%
原材料の高騰	33.3%	20.0%	17.6%	23.1%	0.0%	33.3%	0.0%
エネルギーコストの増加	19.0%	30.0%	17.6%	11.5%	16.7%	0.0%	10.7%
販売単価の低下・上昇難	4.8%	30.0%	23.5%	7.7%	0.0%	16.7%	7.1%
競争の激化	0.0%	0.0%	5.9%	11.5%	33.3%	33.3%	10.7%
後継者の育成・確保	0.0%	0.0%	11.8%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	19.0%	10.0%	11.8%	15.4%	0.0%	16.7%	21.4%

Q具体的な問題点や対応策

公的補助の活用（鉄工・機械）
受注が不安定なため、教育（オンライン等）に、社内の人の質をUPする様努めている（鉄工・機械）
なぜか原材料が高く、一部では品薄も聞いている（鉄工・機械）
とりにあらず物の確保（価格は後回し）（鉄工・機械）
定着率が低い（鉄工・機械）
2020年経費抑制、LPGの高騰（鉄工・機械）
急激な増産で欠員補充もできず人材派遣で賄っているものの、それでもまだ人員不足。実習生を雇用しているが、期間満了帰国者で入れ替わり実習生が来ない。先行がとて不透明である (鉄工・機械)
働き方改革(残業規制など)推進による従業員確保が難しい（鉄工・機械）
4月より積極的に県外の営業活動を行いたい（繊維）
早くコロナが収束しないと、先が見えない（その他製造）
相当品で対応（その他製造）
エネルギーコスト上昇&これに伴う原材料や包装資材価格上昇の販売価格転嫁が困難 (その他製造)
コロナの影響でアパートの着工(需要)が低減（その他製造）
絵付けやロクロ等の職人の高齢化で人材確保が急務である（その他製造）
営業活動を強める（建設業）
技術営業重視（建設業）
人材の確保（建設業）
従業員がずっと不足している（建設業）
異業種経験者の採用（建設業）
本社が新しくなり大きくなった。社屋のランニングコスト(電気料金他)の経費が大幅に増えるが、極力抑えていくよう日々努力している（建設業）
市場の求める性能に対応するためのコストの上昇（建設業）
木材単価が上昇している（建設業）
前回より引き続き、材料納期遅れが考えられる。早め早めの仮発注と発注（建設業）
引き継ぎ（建設業）
価格競争が予想されるから（小売業）
打つ手が無い（卸売業）
飲食部門の悪化改善の見通しがたたない（運輸）
荷主の要望にゆえるとコンプライアンスを守れない（運輸）
衛生管理の徹底（飲食業・宿泊）
10人以上の団体の予約が全くない（飲食業・宿泊）

議員・評議員各位

「小松商工会議所景気見通し調査」

「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 _____ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

景況・業況の動向

○前期＝令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月)

○今期＝令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月、但し3月は見込み)

○来期＝令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月)

	I. 今期(第4四半期)の状況	II. 来期(第1四半期)の見通し
	前期(第3四半期)と比べた 今期(第4四半期)の状況	今期(第4四半期)と比べた 来期(第1四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇 | 3. 経費の増加 |
| 4. 販売単価の低下・上昇難 | 5. エネルギーコストの増加 |
| 6. 原材料の高騰 | 7. 需要の停滞、売上の減少 |
| 8. 従業員の確保難 | 9. 後継者の育成・確保 |
| 10. その他() | |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

--

【設問8】(設問7で「選択肢1・2・3・5・6・7」のいずれかを選択した方にお伺いします)「雇用シェア(在籍型出向)」の実施、検討にあたってのネックや課題についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 出向の相手先企業との出会い、マッチング
2. 出向の相手先企業との交渉に係るノウハウ
3. 出向の対象となる人材の選定
4. 担当する業務に対する出向者の適性や能力・スキル
5. 自社の就業規則の見直しや出向契約の締結に係るノウハウ
6. 人件費等、出向の相手先企業との経費負担の取決め
7. 出向者への教育訓練
8. その他()

【設問9】貴社における業態転換の実施・検討状況についてお聞かせください。

※本設問における業態転換とは自社の商品・サービスやその提供方法、ビジネスモデル、対象とする市場のいずれかの変更と定義します。
(例: 飲食店＝宅配や持ち帰りへの対応、小売業＝ネット販売への進出等)。なお、新分野進出や新規事業の開始、業種転換も含まれます。

1. コロナ禍を契機として既に、主要な事業を業態転換した
2. コロナ禍を契機として既に、一部の事業を業態転換した
3. 今後、主要な事業を業態転換する予定(検討中を含む)
4. 今後、一部の事業を業態転換する予定(検討中を含む)
5. 今後、主要な事業を業態転換する必要性を感じているが、具体的な検討には至っていない
6. 今後、一部の事業を業態転換する必要性を感じているが、具体的な検討には至っていない
7. 業態転換する予定はない

今後の本調査の案内・回答方法について

■今後の本調査の「案内・回答方法」についてお聞かせください。

(できる限り次回調査より対応すべく準備します。)

1. FAXによる案内・回答を希望する
2. メールによる案内・Webによる回答を希望する

■(上記にて「選択肢2」を選択した方にお願いです)下記に担当者役職・氏名・メールアドレス等をご記入ください。

担当者役職・氏名	
メールアドレス	

■(上記にて「選択肢2」を選択した方にお願いです)下記アドレス・QRコードより、今回調査の回答をお願いします。

【令和2年度第4四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/72EB142G4aU1etx48>



その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

回答締切: 3月23日(火)必着 (FAX: 21-3120 までご返信ください)